

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	5111	施策名	市民とともに協働でまちづくりを進めるまち	主 担 当 課	協働のまちづくり課
大項目	人と人がつながるまちづくり				
基本 方針	笠岡市のまちづくりに関する取組については、市民と市役所が協働で進めることにより、市民が生き生きと活躍するまちを目指します。 地域においては、互助的なネットワークの構築を図り、市役所や市民活動団体との協働により、地域にある課題の解決や地域づくりを進めます。また、特定の目的を共有し活動する組織である志縁組織（NPO法人など）とも、笠岡市内にある課題の解決やまちづくりに協働で取り組むことで、よりよい地域づくりを進めます。			関 係 課	全庁

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	市民活動(地縁組織及び志縁組織)との協働推進事業												
事務事業の目的				事務事業の内容									
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
笠岡市民		地縁組織であるまちづくり協議会と市役所との協働による市政の推進を図る。 志縁組織である市民活動団体や地域住民と市役所との協働による市政の推進を図る。		まちづくり協議会の運営及び活動の支援とともに、市民の認知率の向上のため周知啓発を、また地域担当職員の意識・能力向上のため連絡会や研修等を実施する。 市民活動支援センターを拠点として、各市民活動団体の活動支援や市役所との連携等を推進する。 市民活動の活性化を推進するため、地域住民や住民自治組織に対し、各種補助等を実施する。									
平成23年度		平成24年度		平成25年度			平成26年度						
取組内容	●まちづくり協議会との協働による地域づくり事業の実施 ●地域担当職員制度		●市内24のまちづくり協議会との協働による地域づくり事業の実施 ⇒		⇒ ⇒			⇒ ⇒ ●協議会の活動を事例発表するまちづくり活動報告会の開催 ●まちづくり協議会の紹介を広報かさおかに連載し周知・啓発の実施 ●協働のまちづくり課と地域担当職員で協議会へ出向いて意見を伺うまちづくり懇談会の実施 ●協議会を対象とした広報紙作成講座の開催 ⇒ ⇒ ●市民活動支援センター開設10周年記念まちづくりフォーラム2014の実施 ⇒					
	●市民提案型協働モデル事業の実施 ●協働のまちづくりに関する職員研修の実施 ●まちづくりフォーラムの実施 ●この指とまれ講座の実施 ＜志縁型団体（市民提案型）協働事業数：4事業＞		●志縁型団体との協働事業の本格実施 ⇒ ⇒ ⇒ ＜まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：51活動＞ ＜志縁型団体（市民提案型）協働事業数：7事業＞		●志縁型団体と行政との協働事業の実施 ⇒ ⇒ ⇒ ＜まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：48活動＞ ＜志縁型団体（市民提案型）協働事業数：3事業＞			＜まちづくり協議会が活動交付金を使った活動数：48活動＞ ＜志縁型団体（市民提案型）協働事業数：4事業＞					
直接事業費	決算額	18,940	千円		60,303	千円	決算額	58,308	千円	決算額	56,181	千円	
	うち一般財源	17,940	千円	うち一般財源	59,003	千円	うち一般財源	56,789	千円	うち一般財源	51,881	千円	

<3.施策の直接事業費（2の合計）>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接 事業費	18,940	千円	60,303	千円	58,308	千円	56,181	千円
うち 一般財源	17,940	千円	59,003	千円	56,789	千円	51,881	千円

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	まちづくり協議会の認知率 (市民意識調査)	単位	目標				—	55.0	70.0
		%	実績	—	—	48.1	—	54.6	
			達成率					99.3%	
2	市民活動支援センター登録志縁組織数	単位	目標				58	60	65
		団体	実績	29	54	54	59	64	
			達成率				101.7%	106.7%	
3	地域担当職員経験者数	単位	目標				135	162	243
		名	実績	77	85	110	135	154	
			達成率				100.0%	95.1%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・各地域で防災等などの仕組みづくりを考えていくことを継続的に行うことにより、市民協働が推進されと考えられます。	→ まちづくり協議会では、地域住民が集まって、地域の課題や魅力を話し合い、様々な活動に取り組んでいただいております。市民協働の推進には、ご意見のとおりその取組過程の継続が重要であると考えております。
・地区により温度差はあるが、それぞれ地区の課題に取り組んでいる様子が伺える。 ・まちづくり協議会についてはもっと強気に推進して行かれてはと思いますが、地域格差が出始めてると感じます。全体的に声が大きくなっていくようにサポートが必要だと思います。	→ 地域の特色や課題は様々であり取り組みに地域差はありますが、諸事情により地域の活動が進まない場合は、地域の主体性を保ちながら支援していきます。また、まちづくり協議会を市民に知っていただけるよう、広報紙やパンフレットを通じお知らせしていきます。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の 進捗度 A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	A
--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	・まちづくり協議会について、市民の認知度向上を図る必要があり、各まちづくり協議会の広報を引き続き行うとともに、各地域でまちづくりに取組まれている市民にスポットを当てた内容の「協働のまちづくり啓発冊子」を発行して広報を行う。 ・地域担当職員のスキルアップと全職員の協働意識の醸成を図るため、地域担当職員連絡会議や職員研修を行う。 ・市民活動支援センター及び市民活動団体等の役割や活動内容について市民に知ってもらう必要があるため、笠岡放送等のメディアを利用して広報活動を行う。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	A
コメント	・よくなされている			